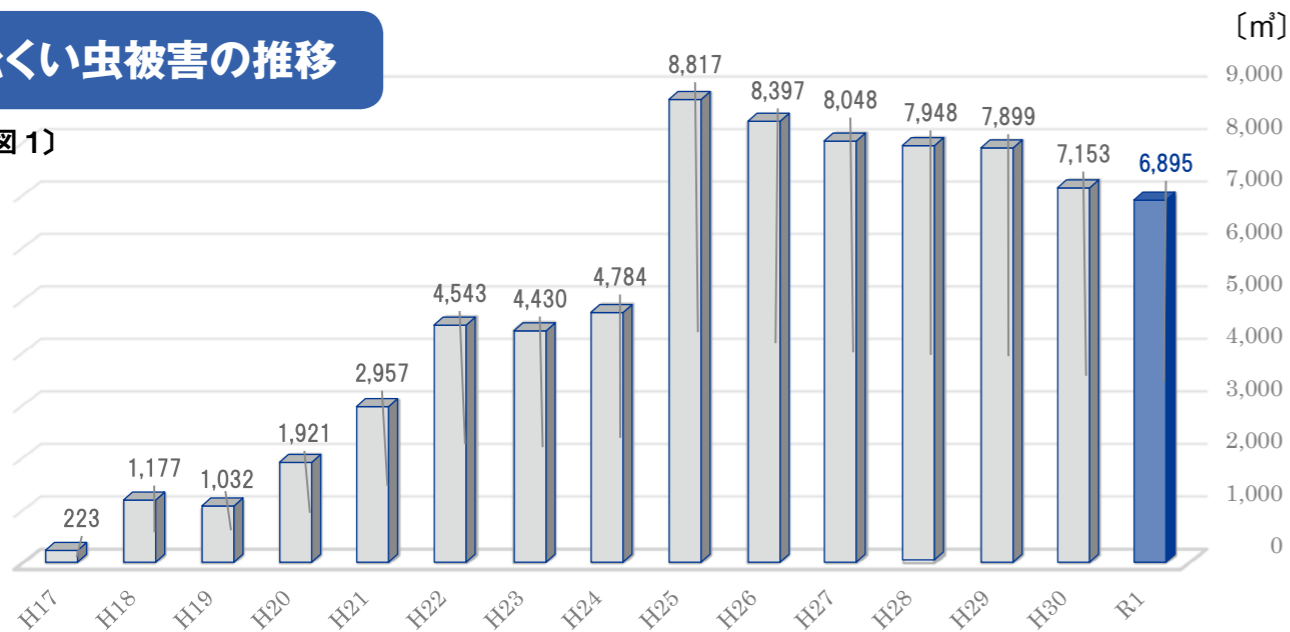


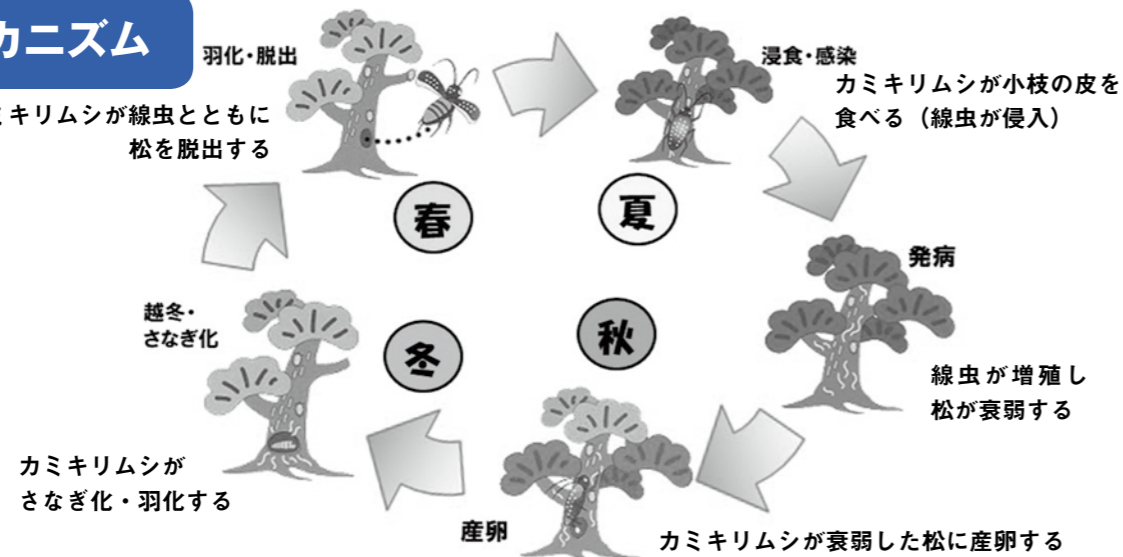
松くい虫被害の推移

〔図1〕



松枯れのメカニズム

〔図2〕



松くい虫対策にご協力ください

問耕地林務課林務担当

(TEL 71・2432 FAX 71・2507)

松くい虫被害とは
正式名称をマツ材線虫病といい、マツノザイセンチュウ（以下、線虫）という1ミリほどの虫が、平成25年をピークに年々減少傾向ではあるものの（図1）、いまだに被害量が高い水準にあります。今月号では、市で実施している対策や制度を紹介いたします。

松くい虫被害は

健康な松の幹の中で増殖することによって、松が水を吸い上げられなくなり枯れてしまうものです。この線虫は、自力で木を移動することはできませんが、マツノマダラカミキリ（以下、カミキリムシ）が媒介し、元気な松に線虫を運ぶことで被害が拡大します。（図2）

被害はカミキリムシによって拡大するため、カミキリムシの生息期間（6月～10月頃）がまん延の期間となります。被害のメカニズムをよく理解し、対策することが重要です。

被害対策の具体的な取り組み
松くい虫被害の対策は、被害にあつてしまった松を処理する「駆除」と、被害を未然に防ぐ「予防」に分けられます。

「駆除」の取り組みとしては、伐倒くん蒸処理があります。森林内の被害木や支障木を伐採し、玉切・集積をして薬剤によるくん蒸を行い、生分解性シートで被覆することで、伐採した木の内部にいる線虫およびカミキリムシの幼虫を殺虫します。

「予防」の取り組みとしては、薬剤の散布と樹幹注入を行っています。薬剤散布は、線虫を媒介するカミキリムシを駆除するため、

森林所有者の皆さんへ

被害木の伐倒処理は、処理量が多い上、まん延防止の観点から迅速な対応が必要であり、事前に森林所有者の皆さんに連絡することなく作業を行う場合もあります。事業の緊急性をご理解いただき、ご協力をお願いします。

また、美しい安曇野の森林を後世に残すためにも、宅地や農地同様、森林についても適正な管理をお願いします。

被害木を発見したら市へ連絡を

夏季（6～8月）に実施されています。樹幹注入は、殺線虫薬剤を健全な松の幹に注入し、線虫の増殖を防ぐもので、松の水の吸い上げが鈍る冬季（11～2月）に実施します。いずれも健全な松に実施することが効果的な予防対策となります。

市では、皆さんの生活に直接影響するライフライン沿いの被害木処理を段階的に実施しています。森林内で倒木の恐れがある松を発見した場合は、耕地林務課へ連絡してください。

松くい虫被害防除対策事業補助金

市では、ご家庭の庭等の松を被害から守る対策として、補助金制度を設けています。被害を周囲に広げないためにも、枯れた松は伐倒駆除を、健全な松には地上散布・樹幹注入を行いましょう。

■市内で松を所有・管理する個人または団体で、この補助金以外に松を維持管理するための収入が無い人

■事業実施前に事業計画書を提出してください。

■事業の種類に応じ、補助対象経費の1/2以内(限度額あり)

事業の種類	補助対象経費	限度額
伐倒駆除	1申請に要する経費	200,000円
薬剤散布	薬剤の購入に要する経費	10,000円
樹幹注入	薬剤1本の購入に要する経費	1,500円

■地上散布と樹幹注入には、それぞれ適期があります。不明な点は、耕地林務課林務担当（2階16番窓口）☎71・2432までご相談ください。

薬剤の空中散布を実施します

本年もヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施しますので、皆様のご理解ご協力をお願いします。

有人ヘリ散布

☎6月25日(木)午前4時30分～5時
☑明科潮沢地区(岩州公園尾根沿い)5ha

無人ヘリ散布

☎6月24日(水)、7月18日(土)
いずれも 午前4時30分～正午

☑豊科大口沢地区
(広域豊科葬祭センター付近)18ha

☑天候不順等により日程が変更される場合があります。

